

2024年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士後期課程
国際学専攻 (一般試験)

受 験 番 号	氏 名

(2 - 1)

辞書使用可・電子辞書不可 《解答別紙》

以下の英文を読み、設問に答えなさい。その際、解答用紙に問題の番号を明記し解答すること。

著作権の関係で掲載できません。

2024年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士後期課程
国際学専攻 (一般試験)

受験番号	氏名

(2 - 2)

辞書使用可・電子辞書不可 《解答別紙》

著作権の関係で掲載できません。

<出典>Niels G. Mede "Rethink Science Communication for the post-pandemic era," Unesco, Inclusive Policy Lab, Mar. 23 2023,
<https://en.unesco.org/inclusivepolicylab/analytics/rethink-science-communication-post-pandemic-era> ほか

問 1: 筆者は、社会におけるサイエンス・コミュニケーションについて議論が高まっているが、そこでは主に二つの議論が展開されていると述べている。下線部

(1)に続くこの段落内の文章を読んで、その二つを 200 字程度で説明せよ。

問 2: 下線部(2)を日本語に訳せ。出典を表示している部分は訳さなくてもよい。

問 3: 下線部(3)の段落で、筆者は現在サイエンス・コミュニケーションにとっては何が必要だと述べているか。本文に沿って、300 字程度で説明せよ。

問 4: (博士課程試験のみ) 下線部(4)を日本語に訳せ。

2024年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《論文》

博士後期課程
国際学専攻

受験番号	氏名

(/ - /)

《解答別紙》

下記の3問の中から1問を選び、それについて論述しなさい。その際、解答用紙に選択した問題の番号を明記すること。

1. 書籍や図書館の現状と未来に関する自らの主張を、以下の語群の中から3つ以上の事項に言及しながら、展開しなさい。なお、使用した語句・事項には、下線を引くこと。

【語群】

- ① ムセイオン ②学芸共和国 ③活版印刷術 ④『想像の共同体』
⑤出版不況 ⑥電子書籍 ⑦街の小規模書店
⑧公立図書館の民営化 ⑨ネット書店

2. ここ数年、急激に進歩している人工知能技術が社会経済に与える影響について、ミクロ（たとえば生産性、雇用、所得分配）とマクロ（経済成長）の両方の視点から論じなさい。

ただし、シンギュラリティ（人工知能が人間の知能を超えた状態）や汎用人工知能（特定の問題だけでなく、様々な問題に対して柔軟に対応できる人工知能）の実現は前提せずに論じること。

3. 研究の学際化について、その理論的基盤、オリジナリティ、課題などを分析しなさい。